

38期 ～行財政入門講座～

第六回テーマ

～わがまちの震災・防災対策は？～

～自分の住む地域を知っておこう～

地震・集中豪雨・突風・竜巻から暮らしを守る
防災の予備知識、自主防災で安心

講師 安心安全課主事 舎川大樹氏
山田好貴氏

報告 R・A

実施日 平成 27 年 7 月 3 日 (金)
場 所 富士見市民活動センター ぱれっと
時 間 午前 10 時～12 時
参加者 14 名

第 38 期行財政入門講座の第 6 回は昨年度に引き続き

「わがまちの震災・防災対策は？」

～自分の住む地域を知っておこう～

地震・集中豪雨・突風・竜巻から暮らしを守る、
防災の予備知識、自主防災

をテーマに開催されました。

講師は 自治振興部安心安全課の舎川主事が前半を担当、
後半は市役所入所間もない山田好貴さんが担当されました。
最初に「風水害に備える」と題して最近 6 月や 7 月に
発生し話題になっている台風について

「 台風とは、台風の強さ、大きさ、寿命、被害、予報
等について詳しく説明があり、その対処方法についても学
びました。

次に「洪水ハザードマップより、～万一の時に役立つこと
を知っておこう～」と題して、大雨時の「浸水の深さ」「気
象情報」「避難情報」「洪水時の注意点」「対処や身の守り方」「避難時の心得」「事前の準備」「非情
持ち出し品」等 いざという時に大変“役立つ”お話で有意義な講座でした。



後半は最近あちこちで発生し、“わがまちでは？” とも思
いもある「竜巻」について「～竜巻の特徴について知ろ
う～」と題した講座でした。「竜巻や突風の種類」「日本におけ
る竜巻の発生件数」「被害状況」「竜巻の発生した時の退避
行動」等、なかなか通常では聞けない話でした。

講座あらまし（講義資料抜粋）

1. 風水害に備える

～台風のこと、どれだけ知っていますか～



講師 山田好貴氏

1. 台風とは？

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経 180 度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10 分間平均）がおおよそ 17m/s（34 ノット、風力 8）以上のものを「台風」と呼びます。

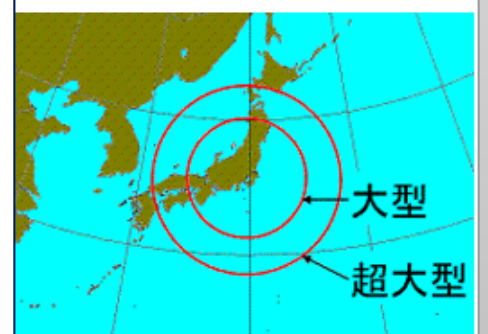
2. 台風の進路性質

台風は上空の風に流されて動き、また地球の自転の影響で北へ向かう性質を持っています。そのため、通常東風が吹いている低緯度では台風は西へ流されながら次第に北上し、上空で強い西風（偏西風）が吹いている中・高緯度に来ると台風は速い速度で北東へ進みます。

3. 台風の強さ 強さの階級分け

強い	33m/s 以上～44m/s 未満
非常に強い	44m/s 以上～54m/s 未満
猛烈な	54m/s 以上

大型、超大型の台風それぞれの大きさは、日本列島の大きさと比較すると以下ようになります。



4. 台風の大きさ（大きさの階級分け）

- 大型（大きい） 500km 以上～800km 未満
- 超大型（非常に大きい） 800km 以上

5. 台風の発生・接近状況

6. 台風の寿命

30 年間（1981～2010 年）の平均は、5.3 日

7. 大雨の影響

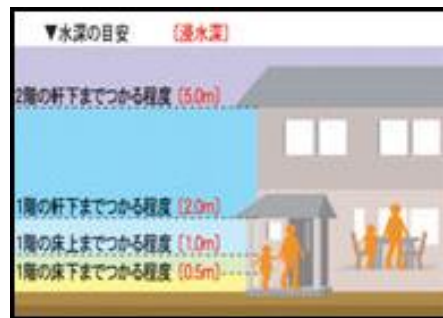
8. 台風の予報 台風が予報円内に入る確率は 70%

2 洪水ハザードマップより

～万一の時に役立つことを知っておこう～

1. 浸水深の色の見方

浸水深区分	5.0m以上
	2.0～5.0m未満
	1.0～2.0m未満
	0.5～1.0m未満
	0.5m未満



2. 気象情報について

雨の強さと降り方の目安

3. 情報の入手

- 富士見市ホームページ
- 国土交通省「川の防災情報」
- 気象庁のホームページ

4. 避難情報の伝達について

避難情報の種類

避難情報の種類	とるべき行動
「避難指示」 市民に対する避難の命令	近くの避難所に直ちに避難しましょう
「避難勧告」 市民に避難の開始を勧める発令	お互い助け合って、近くの避難所に、速やかに避難を始めましょう。 自動車での避難のできるだけやめましょう。
「避難準備情報」 避難しなくてはならない状況になる可能性があるため、その準備を促す発令	いつでも避難できるように、避難の準備をしましょう。 ラジオやテレビの放送、市役所からの広報に注意しましょう。 高齢者や子どもは、早めに避難しましょう。

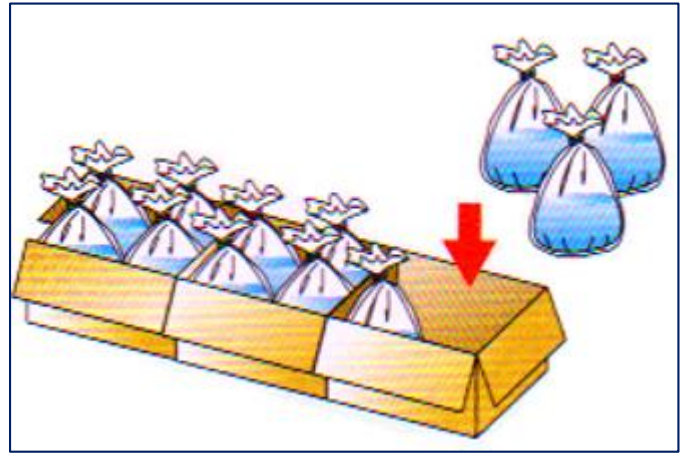
洪水予報・避難情報の伝達経路
水位の見方

5. 洪水時の注意点

避難の呼びかけに注意
地下室の入室を避けて

6. 簡単な土のうの作り方

ごみ袋を利用 シートを利用



7. 地下空間の危険性

屋外の様子がわかりません
停電するおそれがあります

階段はのぼれません
ドアが開きません

8. 洪水時の注意点

河川や橋に近づかないで
都市型水害に注意

変貌する危険な場所も
遅れたら高い建物へ



9. 高層階にお住まいの方は・・・

マンションなどの高層階にお住まいの方は避難所へ行かなくても安全です。
ただし、長期化するおそれがある場合は、指定避難所へ避難してください。

10. 避難時の心得

情報収集と自主避難
車での避難は危険
動きやすい服装で
避難所では助け合って

家を出る前に確認を
水面下の危険に注意を
周囲の避難に協力を

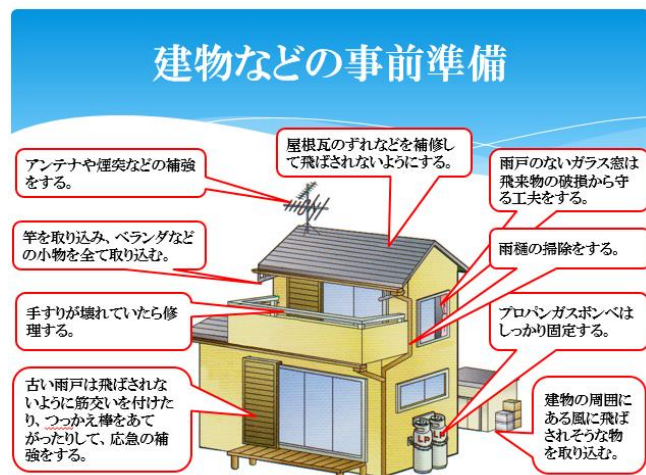
単独での行動は避けて
歩ける水の深さに注意
地域ぐるみでの支援を

11. 建物などの事前準備

12. 家庭内での事前準備

家族会議で決めること
気象や災害情報に注意
避難所と避難経路の確認を
非常持ち出し品を準備して

13. 非常用持ち出し品



3 「竜巻」について

1. 竜巻について

積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻。

被害域は、幅数十～数百メートルで、長さ数キロメートルの範囲に集中しますが、数十キロメートルに達したこともあります。

2. 突風の種類

ダウンバースト 積乱雲から吹き降ろす下降気流が地表に衝突して水平に吹き出す激しい空気の流れです。

ガストフロント 積乱雲の下で形成された冷たい（重い）空気の塊が、その重みにより温かい（軽い）空気の側に流れ出すことによって発生します。

3. 日本における竜巻

竜巻の発生は、日本のあらゆる地域で確認されています。

発生件数は、台風シーズンの9月に最も多いですが、その他の季節においても、台風、寒冷前線、低気圧などの気象条件に伴って発生します。

4. 近年の埼玉県突風被害

2013/9/2 の竜巻、2013/9/2 の竜巻

5. 被害の特徴

竜巻による被害は、短時間に狭い範囲に集中し、竜巻の移動スピードに比例して被害が大きくなります。

建物の倒壊や飛来物の衝突による人的被害、飛来物の建築物への衝突、屋根の剥離や飛散、窓ガラス・外壁の破損、列車・車両の被害、電柱や樹木の倒壊等の直接的被害の他、インフラ設備の被害に伴う停電や断水等の間接的被害があります。

6. 竜巻等に関する段階的な発表

竜巻等に関する気象情報は、時間を追って段階的に発表されます。



竜巻等に関する段階的な発表

竜巻等に関する気象情報は、時間を追って段階的に発表されます。

半日～1日前

気象情報で「竜巻などの激しい突風のおそれ」と明記して注意を呼び掛けます。

数時間前

雷注意報でも「竜巻」と明記して特段の注意を呼び掛けます。

0～1時間前

今まさに、竜巻が発生しやすい気象状況となった段階で竜巻注意情報を発表します。

7. ご清聴ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

「知っている」から「している」へ。
皆様のご理解とご協力をお願いします。



2. 講座の感想 市民大学に対する要望・意見

- 今回の講座の講師が二人ともお若くて久しぶりに昔の学生、社会人時代を思い出し懐かしく聴講しました。内容も身近なお話を入れながら大変解かりやすく、大いに参考になりました。今回の企画有難うございました。(70代男性)
- 解かっているようで意外と解かっていることを知ることが出来て、有意義でありました。(例えば避難準備 → 避難勧告 → 避難指示等)
又竜巻は台風シーズンの9月に多いとの事、竜巻接近時には窓際から離れること、物干し竿やごみ箱等にも注意を払わなければならない等細かいことにも気を付けなければならない。なるほどと思いました。(70代男性)

3. アンケート集計結果 (第二回講座)

1. 集計結果

- 1. 配布数 11人
- 2. 回収数 7人
- 3. 回収率 63.6%

2. 回答者

- | | | | |
|-----------|-----------|-------|------------|
| 1. 50歳以下 | 0 (0.0%) | 1. 女性 | 0 (0%) |
| 2. 51~60歳 | 0 (0%) | 2. 男性 | 6 (100.0%) |
| 3. 61~70歳 | 3 (42.9%) | | |
| 4. 71歳以上 | 4 (57.1%) | | |

3. 設問と回答

Q1. 今回の講座の満足度。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 大いに満足 | 4 (57.1%) |
| 2. 普通 | 1 (14.3%) |
| 3. 不満 (期待外れ) | 2 (28.6%) |

Q2. 今回の講座開催についてお尋ねします。

- | | | | |
|---------|----|-----------|--------------|
| 1. 開催時期 | 良い | 7 (100%) | |
| 2. 時間 | 良い | 7 (100%) | |
| 3. 会場 | 良い | 6 (85.7%) | 場所ふじみ野交流センター |

Q3. 次期も行財政講座を受講したいですか。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 受講する | 3 (42.9%) |
| 2. できたら受講する | 2 (28.6%) |
| 3. 受講しない | 0 |
| 4. 内容による | 2 (28.6%) |

Q4. 今年度の下記テーマの期待度（第一回からの累計）

- | | | | |
|--------------|----|------------|----|
| 1. 市長講座 | 20 | 4. 富士見市の財政 | 10 |
| 2. エンディングノート | 10 | 5. 地球温暖化 | 6 |
| 3. 震災・防災対策 | 12 | 6. 市議会傍聴。 | 8 |

4. 今後取り上げて欲しいテーマ（第一回からの累計）

No	テーマ	累計	第一回	第二回	第三回	第四回	第五回	第六回
1	認知症サポーター制度	21	13	1	4		2	1
2	富士見市の未来予想図	17	12	2	2	1		
3	防災・震災対策	15	12		1		2	
4	富士見市の財政事情	15	9	1	2	2	1	
5	戸籍と住民基本台帳について	7	6					1
6	うるおいやすらぎ「公園・緑地」	8	5				3	
7	身近な税金	8	5	1	2			
8	富士見市の商業(活性化の取り組み)	11	5	1		1	3	1
9	富士見市の農業	12	5	2	1	1	3	
10	地域の防犯、自主防災組織	7	5				2	
11	身近な国際交流	7	4	2	1			
12	消費生活の豆知識(悪徳商法対策等)	5	4				1	
13	市内の青少年健全育成活動	3	3					
14	情報公開制度の仕組みと運用	4	3			1		
15	子供をまもれ、子供たちの安心安全	4	3			1		
16	成年後見制度	7	3	1		1	2	
17	男女共同参画社会について	3	2			1		
18	富士見市の交通安全について	5	2				2	1
19	富士見市の教育(教育委員会の役割等)	2	2					
20	選挙の基本的仕組み	4	1	2				1
21	育児講座	1	1					
22	情報考課制度の仕組みと運用	4	0	2	1	1		
合 計		169	105	15	14	9	21	5